

# A-1が骨格認識で転倒検知

## 画像と前後動画を通知

グローリー（兵庫県姫路市）はエコナビスタ（東京都千代田区）が提供する高齢者施設見守りシステム「ライフリズムナビ+D.R.」と連携する骨格認識A-1による転倒検知システム「ミライアイ」を共同開発した。年内にリリース予定。同システムはライフリズムナビのベッドセンサーと連携させることで99・0%の精度を実現。夜間の訪室業務削減と転倒事故の予防に貢献するという。

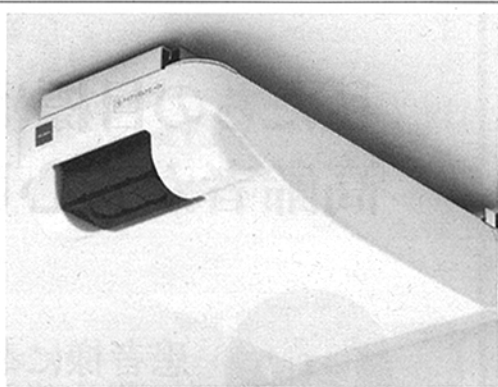


営業本部  
マーケティング  
大坪公成部長

ミライアイは、昼夜問わず人を判別して居室内を見守るため、立体的な情報を広範囲に取得できる「赤外線3次元センサー」と、A-1は、IR画像と3次元情報に置き換え、プ

元情報を取得し、光環境に影響しない赤外光で撮影するため、直射日光などの外部環境の影響を受けずに転倒などの検知が可能。センサーの光は人間の目には見えないため、就寝時にセンサーの光が眠りを妨げることがない。また、センサー部が回転し、人の動きを追従することで居室内3m×6mの広範囲を見守ることができる。

骨格認識A-1技術は、人物の姿勢を認識する「骨格認識A-1技術」を組み合わせたAI画像認識技術で、入居者の様子を骨格情報に置き換え、プ



▲3m×6mの範囲を見守ることができる

## ライフリズムナビと連携

ライバシーに配慮する。人物の詳細な動作を認識できるため、物を拾う動作、ベッドに座る動作などを誤認識しないという。

確認とスピーディーな対応が可能になる。訪室前にライブ映像で入居者の状況を確認することで、入居者の睡眠を阻害することがなくなる。

また、起き上がり、端座位、境界位も検知。消費電力や発熱を抑えたファンレス設計により静かさを追求している。管理用パソコンでは通知履歴、録画、ライブ映像の閲覧、録画映像のダウンロードが可能。過去履歴や録画映像からの状況把握、報告書の作成、家族への報告などに活用できる。

モニター調査では「事故発生時の状況が録画されているため、家族などへの説明や防止対策の検討に役立つ」「リスクマネジメントの視点から未然の事故防止に非常に有効だと感じた」などの声があったという。

営業本部マーケティング部の大坪公成部長は「今後も当社の培ってきた技術をエコナビスタとの強固な連携を構築しながら、社会課題の解決に貢献していきたいと考えている」と語る。